

陳情第100号	受理年月日	令和4年6月9日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	門司弓道場の存続について	
<p>要 旨</p> <p>我々は、日本の武道の一つである弓道を愛し、門司区内において今後も弓道が続けたいと思っているが、北九州市公共施設マネジメント実行計画において、大里地域のスポーツ施設統合計画案では、門司弓道場の移転が計画されていない。</p> <p>弓道は老若男女を問わず心身を修練できるスポーツであり、生涯スポーツと呼ぶにふさわしい。</p> <p>年長者や女性が、日頃の練習や健康づくりの場として利用するには、弓道場が地域内にあることが非常に重要であるが、高齢化率1位の門司区では、特に高齢者にとって、区内唯一の弓道場が廃止となると、他区まで通うことなどが困難となる。</p> <p>計画中の新体育館は大里地域の中心の交通の便がよい位置にあり、弓道場を利用する高校などが近くにあるため、弓道場を併設すれば部活動等による利用拡大も見込まれる。</p> <p>また、公益財団法人北九州市スポーツ協会が実施する弓道教室では、毎年、女性、特に女子中学生の参加者が多く、中学生の受講を認めているのは、市内では門司弓道場と若松武道場の二つだけである。</p> <p>弓道には特別な環境が必要であるが、室内弓道場とすることにより、ほかのスポーツと併せて使用することも可能となり、より有効活用を図ることができる。</p> <p>については、計画中の新大里体育館内に弓道場を併設していただきたい。</p>		